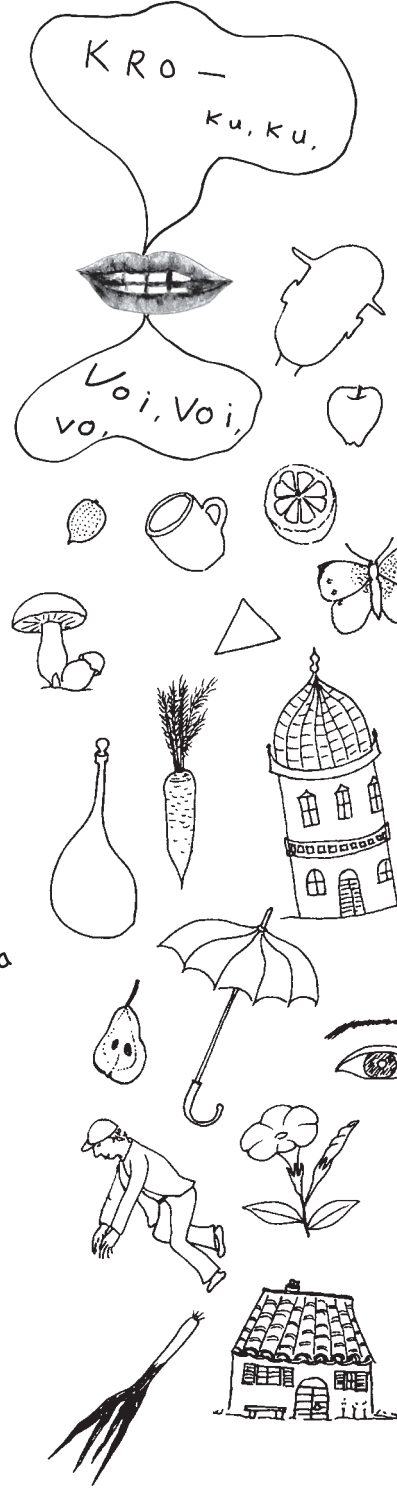


TAKAKO SAITO



それでは、後で会いましょう

Dunque ci vediamo dopo, allora

追悼 斉藤陽子展

2025.11.5[水]—12.14[日]

開館時間 午前9時—午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 11月10日(月)、17日(月)、25日(火)、12月1日(月)、8日(月)

会場 まなべの館 3階展示室2・3

観覧料 一般 300円 ※鯖江市民・小中高生・全国の「さいとう」さんは無料

主催：鯖江市、鯖江市教育委員会 協力：深瀬記念視覚芸術保存基金

お問合せ：鯖江市教育委員会文化課（鯖江市まなべの館）Tel 0778-51-5999-0778-53-2257

《一冊の本3》2006



鯖江市 まなべの館
Sabae Manabe Museum

追悼 斉藤陽子展

2025年9月30日に永眠された、
国際的現代美術家・斉藤陽子(1929-2025)の追悼展を、
彼女の生誕地である福井県鯖江市にて開催します。

斉藤陽子は、戦後の美術教育運動「創造美育運動」によって育まれた自由な創造力と、国際的前衛芸術運動「フルクサス」の実験的な活動を創作の原点とし、約70年にわたり世界を舞台に多彩な表現活動を展開してきました。絵画、版画、立体作品、パフォーマンス、出版物など、多岐にわたる作品を数多く生み出しています。彼女の芸術には、自由な表現と「芸術は誰もが参加できる遊びである」という“あそび”の精神が根底にあり、観る人が能動的に作品に関わる参加型・体験型のアートを追求してきました。

本展では、前回の回顧展をベースに、日本初公開の作品を加え、斉藤のユニークで遊び心あふれる作品を展示します。創造的で実験的な彼女の軌跡をたどりながら、その類稀な魅力を改めて紹介します。



撮影: Marc Schulz

斉藤陽子(さいとう・たかこ)

1929年 福井県鯖江市生まれ。
1947～50年 日本女子大学で児童心理学を学ぶ。
1951～54年 中央中学校で教員を務める。
1952年 久保貞次郎が創設した美術教育運動「創造美育運動」に参加、デモクラート美術家協会のアーティスト獎九や銀獎等の影響を受ける。
1963年 渡米
1964年 ジョージ・マチューナスの下で芸術運動「フルクサス」に参加
その後 フランス、イギリス、イタリアなど欧州各国を経て、現在はデュッセルドルフを拠点として創作活動を展開。五感を駆使するユニークなチェスや作品を観覧者と共同で作るユー&ミーショップなどで知られる作品は、日常生活と芸術を融合させる遊び心に満ちたものが多く、世界各国の美術館に収蔵されている。

2025年 9月30日永眠

(主な展覧会)

「斉藤陽子 叶える夢」2017-2018年 ジーゲン/現代美術館・2019年 ボルドー/現代美術館／「ピピボ、陽子の肖像」2023年 ボーフム美術館



《無題》1957-60



《サウンドドレス(フォージョー・ジョーンズ)》2006



《スリーベッズチェス》1998



《マウンテンチェス》1977



《それでは、後で会いましょう》1976



《プレイ チェス ウィズ ザ サン》1993



《フルックス チェス(通称グラインダーチェス)》1964



《エッチング ボックス》1968



《小鼠達のチェスファンクラブ》2006



アクセス

鉄道 ▶ 福井鉄道福武線(西山公園駅)から徒歩5分
バス ▶ ハビラインふくい鯖江駅よりつつじバス循環線(市役所)から徒歩3分
車 ▶ ハビラインふくい鯖江駅から約5分
鯖江ICから約5分

鯖江市まなべの館

鯖江市教育委員会文化課

〒916-0024

福井県鯖江市長泉寺町1-9-20

Tel 0778-51-5999-0778-53-2257

Fax 0778-54-7123

Sabae Manabe Museum

